CARAMELADO

ミナス・ジェライス州マッタス・デ・ミナス地域に遺産として先代より引き継いだコーヒー園を経営し、シェードツリーや風除けと称し、経営難の際には高級材木として売るために多くの木を植えている。
その農園は急斜面のため区画によっては野生に近い状態での栽培だが、出来は最高品質と自賛する生産者がいる。

Caramelado

ヴィセンチ・ファリア1950年生まれ。 彼の生まれた農園は5世代に渡り約130年の歴史を持つ。初代アントニオ・コレア・デ・ファリア、2代ルシアノ・コレア・デ・ファリア・ソブリニヨ、3代ジュスチーノ・コレア・デ・ファリア、4代目が父であるアントニオ・コレア・デ・ファリア、そして5代目が現在のヴィセンチ・ファリアである。母セシ・マリア・デ・ファリアは父方の又従弟であり、家系は旧農園主達で構成されて来た。
今日我が家が農園経営を続けられるのは、母の存在が大である。父亡き後、農園経営の采配は母の手で行われてきたのである。現在もマリカ農園内で元気に暮らしている。

2000年ヴィセンチ家のコーヒーが第二回カップオブエクセレンス（COE） で優勝した。
カップオブエクセレンスには、自分と姉妹ジュリア・デ・ファリア，そして母セシ・マリア・デ・ファリアの3名の名前で、コンクールに3点のサンプルを提出していた。この受賞の内容は、国内審査では3サンプルの全てが入賞、国際コンクールでは母名で出したサンプルが1位、姉妹名で出したサンプルが9位に入賞した。
コンクールで1位に入ったロットには当時では高値がついた。この結果により、ヴィセンチの農場のコーヒーは一躍有名になった。
コーヒー栽培は彼にとって生涯の情熱であり、又挑戦である。毎日自らが飲むコーヒーはブラジルーと自称する自らの製品である。
コーヒー栽培への夢は終り無く続き、夢が無くなれば、即ち人生の終りと考える。
品質の良いコーヒー生産を常に目標とし、生産地区の模範栽培者としての地位を維持し、家庭に於いては、歴史あるコーヒー栽培者一族としての習慣を大切に残して行きたく思っている。

味覚特長
この地域は1200mを超える農園が多く、涼しさの影響で酸味が強く出ることが多い。 面白い特長としてマッタリとしたコクの有るコーヒーも多く、ナッツ系フレーバーとミックスされることによりキャラメルのような感じとなる。
さらに良質なものは蜜の様な甘いアロマを感じられることもある。